



1 大歳おおとしの森もり
 (山王宮さんのおうぐつ、大歳宮おおとしぐつ、寮仏道りょうぶつどう、地藏堂じざうどう)
 「寺じ由ゆ来らい」に、田中明神たなかみんじんとともに里尾村古開作りおむらふるひらく守護神しゆごじんと書かかれていいる。神かみ殿でんの前まへには、御神みかみ体たいと
 言いわれれる大岩おおいわが有ある。



2 薬師堂やくしどうの半鐘はんしょう
 天保4年(1833年)癸巳3月の年号と数人の先祖の名前が刻まれ供養慰霊のために造られた。



3 荒神社こうじんしゃ
 里ノ尾地区の荒神社として祀られていたのを昭和28年に現在地へ移された。「寛政五丑(1793年)三隅藤左衛門」と刻まれた鳥居もあり、厚南地区の大森荒神社の鳥居より古い。



西宇部ふれあいセンター



4 野地のじの池いけ (浴池えきいけ)
 御撫育用水ごおいくようすいの分水ぶんすい開設かいはつまで際波沖諸開作きわなみおきしよひらく(串、広瀬、沖ノ目)灌漑用水池かんがいようすい池として重要な役割を果たしていた。また、希少生物ベッコウトンボが生息している。



5 始良あいらかざん火山灰露出地層ばいろうしゅつちそう
 約2万5千年前、今の鹿児島湾を噴火口とする始良火山の大爆発が続き、噴煙は関東地方まで達し、宇部付近では厚さ40~50cmのシラス層となつて残っている。



6 古宮台ふるみやだい (岡ノ原) (宇部商グラント横)
 寛和元年(985年)、ここの地へ御神みかみ体たいが飛んできたと伝えられている平原八幡宮発祥の地。



8 平原八幡宮ひらばらはちまんぐう
 寛和元年(985年)に宇佐八幡宮うすはちまんの分靈として建立され、また境内には移設された田中明神たなかみんじんの祠ひらや宇部市指定天然記念物のイスノキ(マンサク科の常緑高木で高さ13.1M、胸高周囲1.9M、樹齢約300年)がある。



7 にしうべ里山
 高木常緑樹が茂り、小鳥の鳴き声がよく聞こえる。石のテーブルや石のベンチ、各地の岩石や灯籠、大ブランコなどの遊具も設置してある私設の自然公園。梅園、桜、つつじ、もみじ等多くあり、四季を通して楽しめる癒しの空間。



9 明照寺みょうしょうじ
 浄土真宗のお寺。ここでは、明照寺住職 岡原周蔵おかはらしゅうぞうによって、文政12年(1829年)~明治5年(1872年)の間、寺子屋が開かれていた。